

おしくらまんぼ

- おしくらまんじゅう
- つながりあそび
- くつつきあそび
- 3人羽織で“みんなのごちそう”

クヌクヌさんのいちにち

『きょうはマラカスのひ』

橋勝朋巳 文・絵 福音館書店



♪マンボ♪もいいけど、
マンボじゃないよ
おしくらまんぼの“んぼ”は
かくれんぼ、おこりんぼ、さびしんぼ…の
“んぼ”

ちいさいひと達、子どもたち、の意。
おしりとおしりをくつつけて、押し合いへし合い、
おしくらまんじゅうしている子どもたち。
そんなお芝居つくりたい！

このお芝居を創るにあたって

ある日突然、大好きな〇〇先生にぎゅっと抱きしめてもらえなくなった。
なかよしの〇〇ちゃんと手を繋げなくなった。
いつもちょっかいを出してくる〇〇君がお母さんにダメって叱られて手を引っ張られて帰って行った。
まわりの大きい人達がみんなマスクしてるから顔がよく見えなくなって、怒っているのか、笑っているのか、泣いているのかよくわからなくて、???.の毎日。
外で思いっきり遊べなくて、触っちゃダメがたくさん増えて。
子どもたちにとって、“それ”は本当に突然やってきた。昨日までの当たり前がダメになった日。大人もそうだけど、子どもたちにとっては、まさに世界がひっくり返るくらいの衝撃だったのではないかなと思う。

それでも、彼らは(人間は)順応性が高いので、ちゃんと慣れていく。きっと、マスク越しの表情を読み取り、まわりの大人達の言っている事を理解し、制限された中でも新しい遊び方を生み出し、たくましく生きていく。
でも、と思う。そうやって彼らに甘えていいのか？ガマンする事に慣れさせていいのか。いや、ガマンする事がこれからは次の“当たり前”になっていく？それは、やっぱりイヤだ。もちろん、“いのち”が一番大事。そして、同じくらい“こころ”も大事。ぎゅっとくつついて、相手のぬくもりを感じたり、逆にイヤだなと思ったらする事は、人の成長にとって必要不可欠なこころの動きだと思うから、やっぱりそれはやめたくない。
人はつながってこそ人だから。いろんな価値観、いろんな考え方はあるけれど、こうして発信し、対話していく事が、今は大事な時だと思う。そんな事を話しながら、この芝居の根っこは生まれました。
人は、こどもも、人間は、くつついてなんぼ！
だから、今こそ、おしくらまんぼ！

制作・田島千穂